



なのみ通信

筑前町立東小田小学校 学校通信 6月26日 第3号

こんにちは。おいしい給食が再開し、毎日いろいろなメニューが登場して、みんなうれしそうです。ただ、3密を避け、給食も教室です。重いごはん類は職員が台車やエレベータで運びますが、食器や牛乳、おかずは手で運びます。当番の子ども達は、助け合い、仲間の待つ教室へと向かいます。

◆ PTA新組織、スタート! ◆

今月は、各学級でPTA新委員が決まり、19日(金)には委員総会を開催し、各委員会の正副委員長、年間計画が決まりました。

本来なら、このあとPTA総会で皆様のご承認をいただくところですがご案内のとおり総会資料を皆様に配布し、書面決議という形で、紙面にて皆様のご承認をいただくことになります。

本年度のPTA活動は、例年とは異なりますが、池松和彦PTA会長のもと、PTA活動を通じて会員の皆様の相互理解と学校の教育活動の充実が進むことと思います。ありがとうございます。なお、各委員さんのお名前は、配布する総会資料にてご確認ください。

◆ 通学路 ◆

通学路。

それぞれの子が、それぞれの通学路を通って学校へやってきます。ワクワクして歩く道、重い足取りで歩む道、大好きな○時間目の勉強を楽しみに歩く道、今日こそごめんとなやまろうと思つて歩く道……。通学路には日々成長していく子ども達の様々な表情があります。

その子は毎朝、おうちの人と登校していました。

私のおはようの挨拶に、小さくうなずき歩く背中には、抱えきれない不安と、それでも私はここに通うのだという決心が見えました。誰もが当たり前のように歩む学校への道は、その子にとって長い長い道のりだったかも知れません。

ある朝、その子が一人で歩いて来るのが見えました。手には紙でくるんだ紫陽花の花を持ち……。私が思わず声をかけると、小さな声で「おばあちゃんが、学校へ持っていきなさいって……」と返しました。

その淡い色の紫陽花は、一人で登校を始めた孫へのお守りだったのでしょうか。寄り添う家族の身代わりだったのでしょうか。それとも、我が孫を託す学校へのメッセージだったのでしょうか。私には、淡い紫陽花をそっと手渡した祖母の思いが幾重にも感じられる朝でした。

様々な不安。覚悟。そして家族の願い。それらを胸に歩み続ける子ども達がいま。今日も、子ども達が、いつもの通学路を学校へと歩いて来ます。

